

地域連携センター一年報

第 15 号（令和 3 年度）



愛知県立大学
Aichi Prefectural University

地域連携センター年報第15号（2021年度）の刊行にあたって

2021年、令和3年4月1日から地域連携センターを仰せつかりました。専門は「オペレーションズ・リサーチ」（作戦の科学）で、情報科学部に属しています。就任にあたり真っ先に確認したのは地域連携センターの英語表記でした。本センターは英語では Regional Liaison Center、略して RLC となります。RLC から連想したのは、情報科学の基礎で学ぶ RLC 回路です。回路の電流を $I(t)$ とすると、この回路で生じる電圧 $V(t)$ は

$$V(t) = RI(t) + L \frac{d}{dt} I(t) + \frac{1}{C} \int I(t) dt$$

となります。この式は、大雑把に言うと、RLC 回路の電圧は、現在（比例）、未来（微分）、過去（積分）の電流の影響を足し合わせたものになることを示しています。ここから、地域連携センターの英略 RLC には「地域連携・貢献の現在・未来・過去を熟考して行動する」という概念が含まれているように思っています。

さて愛知県公立大学法人は、第三期中期目標期間（2019年度～2024年度）を、「地域を支える人材の育成、地域との連携や地域への貢献を推進するために、自治体、他大学、産業界などとの連携の一層の強化を目指す期間」としています。この期間、愛知県立大学の地域連携・貢献に関する目標を「愛知県や他の自治体、他大学、産業界、地域社会等との多様な連携を充実させるとともに、教育、医療・福祉、産業など、多岐にわたる分野で、教育研究を通じて県民の生活と文化の向上、地域の持続的な発展に貢献する」とことと設定しています。この目標を達成するためにも、地域連携・貢献の現在・未来・過去を熟考し行動する所存です。

ところで2021年も新型コロナウイルスに翻弄された1年でした。一方で、延期された東京オリンピック・パラリンピックが開催され、ワクチン接種も進みました。年後半は新規感染者が急激に減少し、国内の経済活動もようやく動き始めたところでした。しかし2022年明けよりオミクロン株による感染が拡がり、今や「第6波」の渦中にあり、まだまだ予断を許さない状況です。

このような社会の状況ですが、地域連携センターは本学・地域の皆様方の温かい支援を受ける中で、センタースタッフが一丸となり、ウィズコロナの時代を見据え、地域連携・貢献に関する第三期中期目標を達成すべく、年度計画に掲げた多様なイベントを中止することなく実施しました。下記は新しい方法で実施した事例です。

- 認知症サポーター養成講座のオンライン開催（2021年8月）
- 学術講演会の東京（講師）・日進市（司会）・長久手 C（運営）の3元生中継方式による開催、同講演会のリアルタイム視聴会場開設（2021年12月）
- オンデマンド方式による Academic デイ 2021 の開催（2021年12月）

また産・学・官・金連携による地域プラットフォームを意識し3件の連携協定：

- 愛知県教育委員会（2021年12月）
- 西尾信用金庫（2022年1月）
- 公益財団法人あいち産業振興機構（2022年3月）

を締結しました。さらに愛知工業大学・地域防災研究センターとは、地域防災をキーワードに交流を進めました。

本年報には、この1年間の取組を詳細に記録しております。ぜひご覧になり、忌憚のないご意見・ご鞭撻をお寄せいただければ幸いです。また今後も引き続き、当センターに対する益々のご支援ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2022年、令和4年3月

愛知県立大学地域連携センター長 奥田隆史

報 告 書 目 次

1	組織と運営	1
2	地域連携センター活動状況	5
3	教員等による地域貢献	
	(1) 自治体への委員及び講師派遣	8
	(2) 教員等による地域貢献の取組実績	9
4	公開講座	
	(1) 学術講演会	12
	(2) 愛県大アカデミックデイ	13
	(3) 連続公開講座	14
	(4) 地域連携事業	15
	＜公開講座＞	16
	＜地域貢献活動＞	35
5	自治体等との連携	
	(1) 愛知県	38
	(2) 長久手市	42
	(3) 豊田市	44
	(4) 高大連携	47
	(5) その他	48
	(6) 連携協定	50
6	参考資料	52

1. 組織と運営

地域連携センター紹介

○地域連携センターの機能

当センターは、愛知県や他の自治体、産業界、大学・研究機関、地域社会等と連携して、本学の研究成果を社会に還元し、地域の課題解決や活力創出に貢献するため、

- ① 対外的な窓口
 - ② 情報の集積・発信
 - ③ 事業の立案・実施
 - ④ コーディネート及びサポート
- という機能を果たします。

○窓口としての機能

教員や学生団体へのコーディネート

自治体からの委員や講師依頼、連携事業の要望に対して、当センターが窓口となり、本学教員や学生団体へのコーディネートやサポートを行っています。

○情報の集積・発信

地域連携に関する情報の一元化

地域連携に関する情報の一元化を図るため、年間の活動を掲載したイベントカレンダーや「愛知県立大学地域連携センターリーフレット」、「地域連携センター年報」等の作成や配布及び当センターウェブサイトでの情報発信を行い、本学の地域連携に関する情報の集約や発信を行っています。各配布物につきましては、当ウェブサイトや愛知県立大学長久手キャンパス図書館などでご覧いただけます。

愛知県立大学地域連携センター規程

(趣旨)

第1条 この規程は、愛知県立大学学則第6条の規定に基づき設置される地域連携センター（以下「センター」という。）の運営に関する基本的事項について、定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、地域連携活動を円滑かつ組織的に推進することを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、その目的を達成するために、次に掲げる業務を行う。

- (1) 行政機関との連携（研究活動を除く。以下第5号まで同じ。）に関すること。
- (2) 他大学・研究機関等との連携に関すること。
- (3) 産業界との連携に関すること。
- (4) 小・中・高等学校等との連携に関すること。
- (5) NPO等各種団体との連携に関すること。
- (6) 学術講演会、公開講座の企画・立案・実施に関すること。
- (7) 学術文化交流センターの管理・運営に関すること。
- (8) その他センター長が適当と認めた業務

(センター長)

第4条 センターに、センター長を置く。

2 センター長は、学長の命を受け、センターの業務を掌理する。

3 センター長の任期は3年とし、再任を妨げない。ただし、学長の任期を超えることはできない。

また、任期の途中でセンター長が交替した場合は、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

4 センター長に事故がある場合は、センター長が予め指名したセンター長補佐がセンター長の職務を代理する。

(センター長補佐)

第5条 センターに、センター長補佐を置くことができる。

2 学長は、センターの運営に必要と判断した場合、センター長と協議の上、センター長補佐を指名することができる。

3 センター長補佐は、センター長の命を受け、センター長の職務を補佐する。

4 センター長補佐の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、学長の任期を超えることはできない。

また、任期の途中でセンター長補佐が交替した場合は、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(センター運営会議)

第6条 センターの業務を円滑に運営するため、センター運営会議を置く。

2 センター運営会議は次の者をもって組織し、議長はセンター長をもって充てる。

- (1) センター長
- (2) 看護実践センター長
- (3) センター長補佐
- (4) 学術情報部長
- (5) その他センター長が必要と認めた者

3 運営会議はセンター長が召集する。

4 議長が必要と認める場合は、センター運営会議に研究推進局長を出席させ、その意見を述べさせることができる。

(庶務)

第7条 センターの庶務は、研究支援・地域連携課で行う。

(補則)

第8条 この規程に定めるセンターの運営に関し必要な事項は、学長が定める。

附則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附則

(施行期日)

この規程は、令和元年11月26日から施行する。

(任期に関する経過措置)

- 1 この規程の施行の際現にセンター長及びセンター長補佐の職にある者の任期については、改正前の規定を適用する。
- 2 この規程の施行の日から令和3年3月31日までの間にセンター長補佐の職に就いた者の任期については、改正後の規定にかかわらず、令和3年3月31日までとする。

附則

(施行期日)

- 1 この規程は、令和3年4月1日から施行する。

(要綱の廃止)

- 2 愛知県立大学産学連携推進室要綱は、廃止する。

令和3年度 地域連携センター運営会議構成員名簿

所 属	氏 名	学部等
議長（地域連携センター長）	奥田 隆史	情報科学部
看護実践センター長	深田 順子	看護学部
地域連携センター長補佐	鈴木 隆	外国語学部
地域連携センター長補佐	三宅 宏幸	日本文化学部
地域連携センター長補佐	久保田 貢	教育福祉学部
地域連携センター長補佐	田 学軍	情報科学部
学術情報部長	日置 英鋭	事務部門

地域連携センター庶務

所 属	氏 名
研究支援・地域連携課長	河田 里恵
研究支援・地域連携課係長	三宅 貴子
研究支援・地域連携課主事	上嶋 綾音
研究支援・地域連携課	稲生 由佳

2. 地域連携センター活動状況

月日		運営会議・委員会等	行事・活動
4月	8日	認知症カフェスタッフミーティング	
	13日	第1回センター運営会議(オンライン)	
	14日～15日	第2回センター運営会議(メール)	
	17日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	27日	愛・地球博記念公園と愛知県立大学との包括連携協定に関するフォローアップ会議	
5月	7日	認知症カフェスタッフミーティング	
	12日	あいちSTEM能力育成事業「知の探究講座」第1回推進会議(書面)	
	15日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」(中止)
	14日	第3回センター運営会議(オンライン)	
6月	4日	あいちスポーツコミッション2021年度総会(書面)	
	15日	第4回センター運営会議(オンライン)	
	18日		公開講座「ポスト・コロナ時代における中国のイノベーション政策とスタートアップの現状」(オンライン)
	19日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」(中止)
	25日		公開講座「新型コロナウイルス感染対策を伴う災害避難所運営を考えよう」(オンライン)
7月	4日		連続公開講座「県大アゲイン」第2回(オンライン)
	7日	認知症カフェスタッフミーティング	地域貢献活動「年金対話集会」
	9日	第1回長久手市大学連携調整会議(オンライン)	
	11日		連続公開講座「県大アゲイン」第3回(オンライン)
	12日～14日	第5回センター運営会議(メール)	
	16日		公開講座「国際的視点からの宇宙産業政策の紹介、地上産業と宇宙産業の共創による経済成長」(オンライン)
	17日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	18日		サイエンス・フェア
	18日		連続公開講座「県大アゲイン」第1回(オンライン)
	24日		知の探究講座開講式
8月	2日～3日	第6回センター運営会議(メール)	
	7日		豊田市公開講座「災害弱者の避難対策の考え方と実践」
	11日		わくわく体験リモツアーズ2021夏(中止)
	18日～24日		知の探究講座(前期)①～⑤
	21日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」(中止)
	22日		公開講座「英語で教える英語の授業の教授法PartⅢ」
	26日		公開講座「通常学級における合理的配慮」(オンライン)
	28日		公開講座「多文化ソーシャルワークの視点から異文化「終活」を考えるセミナー(その2)」(オンライン)
9月	7日	第7回センター運営会議(オンライン)	
	9日		認知症サポーター養成講座(オンライン)
	11日		知の探究講座(後期)⑥(中止)
	18日		豊田市公開講座「保育施設の災害対策・新型コロナウイルス感染対策」第1回(中止)
	18日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」(中止)

月日		運営会議・委員会等	行事・活動
10月	7日	第8回センター運営会議(オンライン)	
	9日		知の探究講座(後期)⑦
	13日	認知症カフェスタッフミーティング	
	15日		公開講座「保育施設における2021年度の新型コロナウイルス対策を学ぼう」(オンライン併用)
	16日		豊田市公開講座「保育施設の災害対策・新型コロナウイルス感染対策」第2回
	23日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	24日		豊田市公開講座「とっさの英会話、とっさの異文化マナー」
	26日	認知症カフェ学生ミーティング	
	27日		公開講座「世界展開する海外日本研究者に学ぶ 東アジアにおける知の伝播のあり方」(オンライン)
	28日		公開講座「発達障がいフォーラム」(オンライン)
11月	2日～30日		地域貢献活動「愛知県立大学国際関係学科「旅の写真展」」「愛知県立大学海外協定大学写真展」
	3日		公開講座「和装本講座」
	6日		公開講座「文化人類学者を招く「時間に支配されないということ」」(オンライン併用)
	6日		知の探究講座(後期)⑧
	8日	名古屋市大学連携懇談会(オンライン)	
	9日	第9回センター運営会議(オンライン)	
	10日	認知症カフェスタッフミーティング	
	18日～19日		あいちシルバーカレッジ専門コース①～④
	20日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	20日		公開講座「第1回 愛知県立大学 世界史セミナー」(オンライン併用)
	24日		公開講座「非正規滞在 仮放免者の声を聞くー日本の入管制度を問うー」(オンライン併用)
	24日		公開講座「被災資料レスキュー方法を実践的に学ぶ」
12月	1日	認知症カフェ学生ミーティング	
	3日		公開講座「国際セミナー 2021年、世界の展望」(オンライン)
	5日		学術講演会「共生社会とは何か～仕事や事件を通じて私が学んだこと～」(オンライン)
	7日		WWL千種高校出前講座
	7日～8日	第10回センター運営会議(メール)	
	8日～14日		愛県大アカデミックデイ2021(オンデマンド)
	9日	認知症カフェスタッフミーティング	
	11日		公開講座「新旧大陸文明遭遇の光と影:征服500年/独立200年のメキシコから未来への提言」(オンライン)
	17日		公開講座「インドネシア現地経済事情講習会」(オンライン)
	18日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	18日		地域貢献活動「愛知県における医療通訳に関する調査」オンライン報告会」(オンライン)
	20日		愛知県教育委員会との協定締結式
	22日	認知症カフェ学生ミーティング	
	24日	認知症カフェスタッフミーティング	

月日		運営会議・委員会等	行事・活動
1月	7日	第2回長久手市大学連携調整会議(オンライン)	西尾信用金庫との協定締結式
	8日		知の探究講座全体発表会
	11日	第11回センター運営会議(オンライン)	
	15日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	19日	認知症カフェ学生ミーティング	
	25日		愛知県地域づくり活動フォーラム(オンライン)
	25日～28日		公開講座「インドネシア語講座(初～中級)」(オンライン)
	27日	あいちSTEM能力育成事業「知の探究講座」第1回推進会議(書面)	
2月	1日		WWLコンソーシアム構築支援事業研究成果発表会
	2日	認知症カフェスタッフミーティング	
	8日	第12回センター運営会議(オンライン)	
	12日		長久手市大学連携4Uワーキング 愛知県立芸術大学「町づくりのデザイン公開授業」
	19日		公開講座「第2回 愛知県立大学 世界史セミナー」(オンライン)
	19日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」(中止)
	20日		長久手市大学連携4U報告会(オンライン)
	26日		長久手市大学連携4Uワーキング 愛知医科大学「模擬患者を体験してみよう」(オンライン)
3月	2日	認知症カフェスタッフミーティング	
	6日		長久手市大学連携4Uワーキング 愛知県立大学「長久手まち歩きマップ作成ワークショップ」
	8日	第13回センター運営会議(オンライン)	
	9日		愛知工業大学 学生大防災会議2022(オンライン)
	12日		長久手市大学連携4Uワーキング 愛知淑徳大学「節分を楽しもう！」
	16日		公益財団法人あいち産業振興機構との協定締結式
	19日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」(中止)
	27日		地域貢献活動「全日本外国人留学生バドミントン大会」
	30日	認知症カフェスタッフミーティング	

3. 教員等による地域貢献

(1) 自治体等への委員及び講師派遣

《自治体の審議会への委員推薦》

○愛知県

- ・リニモ沿線地域づくり会議委員 松宮 朝（教育福祉学部社会福祉学科 准教授）

○長久手市

- ・長久手市大学連携推進協議会委員 愛知県立大学地域連携センター長
- ・長久手市大学連携連絡調整会議委員 松宮 朝（教育福祉学部社会福祉学科 准教授）
- ・長久手古戦場野外活動施設運営委員会委員 丸山 裕美子（日本文化学部歴史文化学科 教授）

《自治体等への派遣及び紹介》

○春日井市「かすがい熟年大学」（春日井市文化スポーツ部文化・生涯学習課）

三宅 宏幸（日本文化学部国語国文学科 准教授）

「曲亭馬琴の世界」（令和3年6月24日 中止）

今野 元（外国語学部ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻 教授）

「ドイツから見たナポレオンとフランス革命」（令和3年11月17日開催）

○その他

- ・公益財団法人名古屋産業振興公社

清水 宣明（看護学部看護学科 教授）

「新型コロナウイルスを産業界から攻める ―精神論から物理的対策へ―」

（令和3年12月3日開催）

《その他地域連携コーディネート及び連携事業》

- ・愛知県教育委員会（高大連携事業・連携協定）
- ・愛知県生涯学習推進センター（公開講座情報の提供、生涯学習講座講師名簿への情報提供）
- ・愛知県都市整備局交通対策課（リニモ沿線地域づくり会議への協力）
- ・愛知県総務局総務部市町村課地域振興室（連携事業の実施）
- ・愛知県福祉局高齢福祉課（認知症パートナー大学、シルバーカレッジへの協力）
- ・愛知県スポーツ局スポーツ振興課（あいちスポーツコミッションへの参画）
- ・愛知県経済産業局産業部産業振興課（あいち健康長寿産業クラスター推進協議会への参加）
- ・愛知県環境局環境政策部自然環境課（東部丘陵生態系ネットワーク協議会への参加）
- ・愛知県陶磁美術館（パートナーシップ事業）
- ・徳川美術館（大学メンバーシップへの参加）
- ・名古屋市教育委員会（大学連携懇談会への参加）
- ・名古屋市中川区福祉部民生子ども課（災害対策事業協定）
- ・長久手市（大学連携推進協議会への参加、相互の事業の周知協力等）
- ・日進市生活安全部市民協働課（提案型大学連携協働事業の実施）※R3年度は応募なし
- ・豊田市（共催公開講座の実施）
- ・公益財団法人 あいち産業振興機構（連携協定）
- ・瀬戸商工会議所（パソコン講習会の実施）※R3年度は中止

3. 教員による地域貢献

(2) 教員による地域貢献の取組実績

《カルチャーセンター講師》

○中日文化センター

上川 通夫（日本文化学部歴史文化学科 教授）

「日本の歴史—中世社会の実像」（令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月）

伊藤 伸江（日本文化学部国語国文学科 教授）

「徒然草を読む—兼好の思索の魅力」（令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月）

○NHK 文化センター

丸山 裕美子（日本文化学部歴史文化学科 教授）

「平安貴族の日記を読む—『御堂関白記』『小右記』『権記』」

（令和 3 年 10 月～令和 4 年 3 月）

○朝日カルチャーセンター

愛知県立大学では、大学での教育研究の成果を県民や社会に対して還元するとともに、高度な要望や知的欲求など県民の多様なニーズに対応するため、朝日カルチャーセンターと提携講座を開催している。

【令和 3 年度提携講座】

久富木原 玲（学長）

「源氏物語の謎」（令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月）

「源氏物語「宇治十帖」を味わう」（令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月）

伊藤 伸江（日本文化学部国語国文学科 教授）

「兼好法師のつれづれなる生活—中世文学の世界」（令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月）

【その他の講座】

伊藤 伸江（日本文化学部国語国文学科 教授）

「百人一首歌語り～「女房歌人」編」（令和 3 年 6 月）

「藤原定家・歌語り～「定家卿百番自歌合」編」（令和 3 年 9 月）

「定家卿百番自歌合～冬の名歌」（令和 3 年 12 月）

「定家卿百番自歌合～「夢の浮橋」の歌」（令和 4 年 3 月）

三宅 宏幸（日本文化学部国語国文学科 准教授）

「日本近世文学を読む～曲亭馬琴『南総里見八犬伝』の冒頭から」（令和 3 年 7 月～9 月）

「『南総里見八犬伝』と馬琴～伏姫・八房譚を読む」（令和 4 年 1 月～3 月）

《審議会等の委員》（公表されているものから一部抜粋）

- 愛知県 愛知県公益認定等審議会、愛知県DX推進本部有識者会議、愛知県文化財保護審議会、愛知芸術文化センター運営会議、愛知県医療審議会、愛知県国民健康保険運営協議会、愛知県都市計画審議会、愛知県教員の資質向上に関する協議会、愛知県私立学校審議会、愛知県学校法人等助成審議会、愛知県在宅医療推進協議会、愛知県子ども・若者の育成支援を考える有識者会議
- 長久手市 長久手市放課後子ども教室運営委員会、長久手市平成こども塾運営委員会、長久手市障がい者自立支援協議会、長久手市指定管理者選定委員会、長久手市文化財保護審議会、長久手市多文化共生推進会議、長久手市地域包括ケア推進協議会、長久手市都市計画審議会
- 名古屋市 名古屋市文化財調査委員会、名古屋市博物館協議会
- その他 （文部科学省）学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業「瀬戸市における民間団体との協働による障害者生涯学習プログラムの開発」連携協議会委員、小牧市障害者自立支援協議会、岡崎市情報公開・個人情報保護審査会、岩倉市子ども・子育て会議、西尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会

《その他》

愛知県多文化共生推進室	松宮 朝（教育福祉学部社会福祉学科 准教授）
外国人をめぐる教育に関するシンポジウムコーディネーター	
愛知県次世代振興課次世代産業室	奥田 隆史（情報科学部情報科学科 教授）
航空機産業製造人材育成講座における講師	
愛知県福祉局、長久手市子ども部・福祉部、瀬戸市健康福祉部	山本 理絵（教育福祉学部教育発達学科 教授）
「子ども・子育て会議」委員ー子ども・子育て等に関する計画の策定及び計画の進捗状況等について助言	
愛知県総合教育センター（相談部）	生涯発達研究所 山本 理絵（教育福祉学部教育発達学科 教授） 三山 岳（教育福祉学部教育発達学科 准教授）
教育現場と連携した共同研究として「特別ニーズ教育実践研究会」を実施	
岐阜県環境生活部県民文化局文化伝承課	上川 通夫（日本文化学部歴史文化学科 教授）
岐阜県古代・中世寺院跡総合調査検討委員会の委員として、文献史学の立場から助言	
名古屋市東生涯学習センター	秋田 貴美子（外国語学部国際関係学科 准教授）
「〈女性セミナー〉私らしく踏み出す一歩」における講演 「ジェンダーとコミュニケーション～私らしく生きる方法～」(令和3年6月3日)	
名古屋市緑生涯学習センター	秋田 貴美子（外国語学部国際関係学科 准教授）
「〈女性セミナー〉夢に向かって前進！～なりたい自分との出会い～」における講演 「ジェンダーを学び、自分らしく生きる」(令和3年2月2日)	

名古屋市子ども福祉課	生涯発達研究所 山本 理絵（教育福祉学部教育発達学科 教授） 三山 岳（教育福祉学部教育発達学科 准教授） 瀬野 由衣（教育福祉学部教育発達学科 准教授）
「早期子ども発達支援担当職員向け研修のモデル実施」業務を生涯発達研究所が受託し、研修プログラム開発を実施	
瀬戸市健康福祉部	教育福祉学部
生活困窮家庭やひとり親家庭の中学生に対しての学習支援授業として、学部教員の指導のもと、毎週1回、学生10名程度が学習支援活動に参加	
瀬戸市健康福祉部児童発達センター・発達支援室、瀬戸市教育委員会学校教育課	人間発達学研究科 山本 理絵（教育福祉学部教育発達学科 教授） 三山 岳（教育福祉学部教育発達学科 准教授）
「発達障害支援事業業務」を受託し、発達相談等のコーディネートを実施	
瀬戸市健康福祉部児童発達センター・発達支援室、瀬戸市教育委員会学校教育課	山本 理絵（教育福祉学部教育発達学科 教授） 三山 岳（教育福祉学部教育発達学科 准教授） 瀬野由衣（教育福祉学部教育発達学科 准教授）
瀬戸市の小中学校へ、本学教員および生涯発達研究所研究協力員による特別支援教育巡回相談の実施	
浜松市児童相談所	村田 一昭（教育福祉学部社会福祉学科 准教授）
2021年度静岡県児童相談所児童福祉司任用後研修における研修講師	
愛知県国際交流協会	東 弘子（外国語学部 教授）
「令和3年度 実践！やさしいにほんご講座」における講師（3時間×3回）	
愛知県国際交流協会	東 弘子（外国語学部 教授）
「愛知県国際交流協会事業推進計画2023」の中間評価アドバイザー	
愛知県看護協会	箕浦 哲嗣（看護学部看護学科 教授）
訪問看護認定看護師教育課程「医療情報論」非常勤講師	
長浜市社会福祉協議会	松宮 朝（教育福祉学部社会福祉学科 准教授）
地域の孤立防止講演会の講師	
東栄町社会福祉協議会	松宮 朝（教育福祉学部社会福祉学科 准教授）
地域福祉計画策定にかかわる講演・研修講師、ファシリテーター	
尾張旭市社会福祉協議会	松宮 朝（教育福祉学部社会福祉学科 准教授）
地域福祉活動計画策定にかかわるワークショップでの講演	
刈谷市社会福祉協議会	松宮 朝（教育福祉学部社会福祉学科 准教授）
地域の孤立防止に関する研修・講演	

4. 公開講座 (1) 学術講演会

令和3年度 学術講演会 実施結果

1. 講演名：共生社会とは何か ～仕事や事件を通じて私が学んだこと～
2. 開催日時：令和3年12月5日（日） 13：30～15：30
3. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）／長久手キャンパス 小ホール（視聴会場）
4. 講師：村木 厚子 氏（津田塾大学 客員教授）
5. 参加者数：176名（オンライン159名／視聴会場17名）

【講演の様子】



【チラシ】



【視聴会場の様子】



4. 公開講座

(2) 愛県大アカデミックデイ

令和3年度 愛県大アカデミックデイ 2021 実施結果

1. 日 時：令和3年12月8日（水）～令和3年12月14日（火）
2. 会 場：オンデマンド（Vimeo）
3. 参加者数：73名（視聴数：380回）
4. コンテンツ：

◇シーボルト賞受賞記念講演

（視聴数：95回 ユニーク視聴者数：53名）

講師：今野 元 教授（愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻）

2021年度フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト賞を受賞。マックス・ヴェーバーの研究を主とし、政治学・歴史学の分野で顕著な業績を上げる。また、研究以外での様々な活動を通じた日独の文化・社会相互理解への多大なる貢献が評価され、今回の受賞となった。

◇研究所・プロジェクトチーム紹介

◇教員による研究発表

【学長挨拶】



【チラシ】



【講演の様子】



4. 公開講座 (3) 連続公開講座

令和3年度 連続公開講座「県大アゲイン」 実施結果

1. 講座名：連続公開講座「県大アゲイン」
2. 日時：第1回 7月4日（日） 第2回 7月11日（日） 第3回 7月18日（日）
すべて 10:30～12:00
3. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
4. 参加者数：99名（第1回 64名 第2回 59名 第3回 54名 延べ177名）

講座内容・講師名

○第1回：受講者数 64名

テーマ	「戦争の文化」に向き合う、「平和の文化」を紡ぐ —「ベトナム戦争の時代」が現在問いかけること—
講師	藤本 博 氏 外国語学部英米学科 1973 年卒業



○第2回：受講者数 59名

テーマ	『源平盛衰記』の鹿谷事件を読む
講師	早川 厚一 氏 文学部国文学科 1971 年卒業



○第3回：受講者数 54名

テーマ	脳の機能を考える —半側空間無視の例から—
講師	上田 正子 氏 文学部国文学科 1973 年卒業



○センター長挨拶



○チラシ



4. 公開講座

(4) 地域連携事業

令和3年度実施 地域連携事業リスト

	公開講座	事業 種別	開催日	参加人数		頁数	
				対面	オンライン		
☆	1	ポスト・コロナ時代における中国のイノベーション政策とスタートアップの現状	共催	6/18	—	129	16
	2	新型コロナウイルス感染対策を伴う災害避難所運営を考えよう	共催	6/25	—	46	17
	3	国際的視点からの宇宙産業政策の紹介、地上産業と宇宙産業の共創による経済成長	共催	7/16	—	53	18
	4	豊田市公開講座 災害弱者の避難対策の考え方と実践	共催	8/7	10	—	44
	5	英語で教える英語の授業教授法 PartⅢ	主催	8/22	7	—	19
	6	通常学級における合理的配慮 ー特別支援教育の視点を生かした学習指導・生徒指導ー	共催	8/26	—	53	20
	7	多文化ソーシャルワークの視点から異文化「終活」を考えるセミナー（その2）	共催	8/28	—	109	21
	8	保育施設における 2021 年度の新型コロナウイルス対策を学ぼう	共催	10/15	10	102	22
☆	9	豊田市公開講座 保育施設の災害対策・新型コロナウイルス感染対策	共催	10/16	8	—	45
☆	10	豊田市公開講座 とっさの英会話、とっさの異文化マナー	共催	10/24	10	—	46
	11	世界展開する海外日本研究者に学ぶ 東アジアにおける知の伝播のあり方 ー漢籍の受容から考えるー	共催	10/27	—	180	23
	12	愛知県立大学 発達障がいフォーラム 障害のある児童生徒を支援する ICT を活用した合理的配慮	共催	10/28	—	88	24
	13	和装本講座	共催	11/3	18	—	25
	14	文化人類学者を招く 「時間に支配されないということ」	共催	11/6	50	150	26
	15	第1回 愛知県立大学 世界史セミナー	共催	11/20	18	17	27
	16	非正規滞在 仮放免者の声を聞くー日本の入管制度を問うー	共催	11/24	39	21	28
	17	被災資料レスキュー方法を実践的に学ぶ	共催	11/24	97	—	29
	18	第4回 国際セミナー 2021 年、世界の展望	主催	12/3	—	68	30
	19	新旧大陸文明遭遇の光と影：征服 500 年/独立 200 年のメキシコから未来への提言	主催	12/11	—	91	31
	20	インドネシア現地経済事情講習会	主催	12/17	—	102	32
	21	インドネシア語講座（初～中級）	主催	1/25～28	—	28	33
	22	第2回 愛知県立大学 世界史セミナー	共催	2/19	—	88	34
	地域貢献活動		事業種別	開催日		頁数	
1	年金対話集会		共催	7/7		35	
2	愛知県立大学国際関係学科「旅の写真展」「愛知県立大学海外協定大学写真展」		共催	11/2～30		36	
3	「愛知県における医療通訳に関する調査」オンライン報告会		共催	12/18		37	

☆：豊田市との共催事業

4. 公開講座
 (4) 地域連携事業
 <公開講座>

令和3年度 地域連携事業 実施結果①

1. 事業名称：ポスト・コロナ時代における
中国のイノベーション政策とスタートアップの現状
2. 事業種別：共催
3. 申請者：鈴木 隆（愛知県立大学外国語学部中国学科 准教授）
4. 共催：愛知県、愛知県立大学 ICT テクノポリス研究所、
愛知県立大学地域連携センター、愛知県立芸術大学社会連携センター
5. 開催日時：令和3年6月18日（金） 18:00～20:30
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 講師：丁 可 氏（日本貿易振興機構（JETRO）アジア経済研究所 研究員）
藤岡 淳一 氏（JENESIS(ジェネシス)株式会社 代表取締役社長）
8. 参加者数：129 名（一般）

【概要】

丁可氏からは「ポスト・コロナ時代における中国のイノベーション政策とスタートアップの現状」について解説があり、藤岡淳一氏からは「深圳での起業からのスタートアップ支援」について解説がされた。最後に質疑応答の時間では、多くの質問が寄せられた。

【チラシ】

愛知県立大学
Aichi Prefectural University

**ポスト・コロナ時代における
中国のイノベーション政策とスタートアップの現状**

中国は、米国とともに、科学技術と社会経済活動のイノベーションの震源地として、世界の注目を集めている。同時に、最近では米中対立が激しさを増している。日本経済全体、及び、製造業を主体とする東海地区の産業の動向も、これらの動きに影響を受けるのは必至だ。

また、愛知県は現在、スタートアップ事業の育成を、県独自の経済政策の重点に位置付けている。2019年8月には、県庁経済産業局にスタートアップ推進課も新設された。

本公開講座は、中国の経済とスタートアップ政策、イノベーションの実情について、気鋭の研究者と企業経営者が解説する。

<講師>
 ・丁 可 氏（アジア経済研究所 研究員）
 ・藤岡 淳一 氏（JENESIS株式会社 代表取締役社長）

<主催>
 ・愛知県立大学ICTテクノポリス研究所
 ・愛知県経済産業局スタートアップ推進課

日本における研究の第一人者
 中国・深圳で起業注目の経営者

2021年6月18日（金）18:00～20:30
オンライン開催（Zoomウェビナー） **無料**

【申込方法】
 愛知県立大学 地域連携センターWebサイトにアクセスし、講座ページからお申込みください。

【問い合わせ】
 愛知県立大学
 学術情報部 研究支援・地域連携課
 〒480-1198
 愛知県長久手市栗ケ建間1522番3
 電話：0561-76-6843
 メール：renkei@u-aichi.ac.jp

令和3年度 地域連携事業 実施結果②

1. 事業名称：新型コロナウイルス感染対策を伴う災害避難所運営を考えよう
2. 事業種別：共催
3. 申請者：清水 宣明（愛知県立大学看護学部看護学科 教授）
4. 共催：愛知県立大学地域災害弱者対策研究所、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年6月25日（金） 13：00～15：30
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 講師：清水 宣明（愛知県立大学看護学部看護学科 教授）
8. 参加者数：46名（一般）

【講座の様子】



【チラシ】

愛知県立大学 地域連携事業

公開講座「新型コロナウイルス感染対策を伴う災害避難所運営を考えよう」

新型コロナウイルスの感染拡大開始から1年を過ぎましたが、その終息はまだまったく見えません。南海トラフ地震の可能性の増大や気象災害の頻発からも、住民の避難対策の整備が急がれますが、今後は新型コロナウイルス感染対策を実施しながらの避難場所および避難所運営が必要となってきます。

本講座では、新型コロナウイルスの感染と制御についての専門的な知識の講義のあと、質疑応答などをとおして、実践的な知識を身につけていただきます。

【ご注意】
新型コロナウイルス感染症拡大の状況を考慮し、開催方法はオンラインのみとなります。

参加費無料

日時 2021年6月25日(金) 13：00～15：30

開催方法 オンライン（Zoom）

講師 清水 宣明 教授（愛知県立大学看護学部）

地域連携センターWEBサイト
申込はこちら

◆ 申込方法 | 以下の方法でお申込みください。
（定員になり次第、申込を締め切ります。）
愛知県立大学 地域連携センターWeb申込みシステム
<http://www.burairchi-pu.ac.jp/renkei/>
※左記のQRコードからアクセス可能

【問い合わせ】
愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課 〒480-1198 愛知県長久手市牧ヶ原1522番3
メール：renkei@burairchi-pu.ac.jp

【主催】愛知県立大学地域災害弱者対策研究所 【共催】愛知県立大学地域連携センター 【後援】名古屋市中川区

令和3年度 地域連携事業 実施結果③

1. 事業名称：国際的視点からの宇宙産業政策の紹介、
地上産業と宇宙産業の共創による経済成長
2. 事業種別：共催
3. 申請者：鈴木 隆（愛知県立大学外国語学部中国学科 准教授）
4. 共催：愛知県、あいち・なごやエアロスペースコンソーシアム、
愛知県立大学 ICT テクノポリス研究所、愛知県立大学地域連携センター
5. 協力：株式会社サイエンス・クリエイト
6. 開催日時：令和3年7月16日（金） 14：00～16：30
7. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
8. 登壇者：高橋 鷹山 氏（株式会社 OUTSENSE）
井上 榛香 氏（株式会社 sorano me／宙畑外部ライター）
常間地 悟 氏（株式会社 ワークスペース）
是永 基樹 氏（経済産業省製造産業局宇宙産業室 室長）
9. 参加者数：53名（一般）

【事例報告】

- ・「宇宙での暮らしとモビリティ」高橋 鷹山 氏（株式会社 OUTSENSE）
- ・「宇宙ビジネスの現在地と未来」井上 榛香 氏（株式会社 sorano me／宙畑外部ライター）
- ・「光中継衛星ネットワークと茨城県の宇宙ベンチャーコミュニティの紹介」
常間地 悟 氏（株式会社 ワークスペース）
- ・「国際的視点からの宇宙産業政策の紹介、地上産業と宇宙産業の共創による経済成長」
是永 基樹 氏（経済産業省製造産業局宇宙産業室 室長）

【ICT テクノポリス研究所 神谷所長の挨拶】



【チラシ】



令和3年度 地域連携事業 実施結果④

1. 事業名称：英語で教える英語の授業教授法 PartⅢ
2. 事業種別：主催
3. 申請者：秋田 貴美子（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 准教授）
4. 開催日時：令和3年8月22日（日） 10:00～12:00
5. 会場：愛・地球博記念公園 地球市民交流センター 多目的室2
6. 講師：秋田 貴美子（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 准教授）
7. 参加者数：7名（一般）

【概要】

最初に、日本の英語教育、日本と英語圏文化比較、英語の効果的習得方法、効果的な英語の教授法について講義をした。また、講義の途中と後半に、授業で実施できるアクティビティー（非言語挨拶、英語の歌、Chants, Rap, 対話、ゲーム、ジョーク）の紹介をし、ペアワークで練習した。危機的状況で感情を込めて身体で覚える英語表現、英語のジョークやユーモアを含んだ英会話を通して楽しく英語を学ぶ方法、クラス全体が参加する英語のみを使うクイズゲームなどを紹介した。参加者は全員非常に熱心に講義を聴き、ワークショップに積極的に参加した。

【チラシ】

**英語で教える
英語の授業教授法
PARTⅢ**

【ご案内】
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、臨時休校、授業形態の確保などの対策をとります。会場には、マスク着用、入場時の手洗い消毒にご協力いただき、体調が優れない場合は参加をご遠慮ください。
※状況により、中止・延期・会場変更とする場合がございます。詳細は愛知地域連携センターのサイトをご確認ください。

講師&ワークショップファシリテーター:
秋田 貴美子
愛知県立大学国際関係学科 准教授
経歴: 2014年～現在JICAにて海外研修生対象「Cool Japan」を英語で教える。2005～2014年米国フロリダ州セントラルフロリダ大学准教授。2002～2005年米国インディアナ州セント・メアリーズ大学講師。この他、日本の大学や企業にて豊富な英語教育経験有り。

対象: 一般
（特に小・中学校、高等学校の「英語で教える英語の授業」でお困りの先生方）
お子様連れでの受講はご遠慮下さい。
※定員20名程度

申込み: 愛知県立大学地域連携センターWebサイトの専用ページより申込みください。
※申し込みは、愛知地域連携センターの募集要項（PDF）を必ずご確認ください。
申し込み期間: 8月10日（火）～8月14日（土）正午まで
Webサイト: <http://www.bur.aichi-cu.ac.jp/runkai/>
お問い合わせ:

愛知県立大学術情報部
研究支援・地域連携課
Tel: 0561-76-8843

WHEN 開催日時
2021年8月22日（日）10時～12時
前半: 講義
後半: ワークショップ

WHERE 場所 ※大学が会場ではありません。ご注意ください。
愛・地球博記念公園（モリコロパーク）
地球市民交流センター 多目的室2
リニモ「愛・地球博記念公園駅」B出口より徒歩3分
愛・地球博記念公園北入口よりすぐ

Content 内容
前半は、「日本の英語教育」や「理想的な英語の教え方」についての講義を行います。後半は、ワークショップにて、リズム、ラップ、英語のジョークやユーモアを含んだ英会話を通して楽しく英語を学ぶ方法、クラス全体が参加でき楽しめる英語のゲームなどを紹介します。

【講座の様子】



令和3年度 地域連携事業 実施結果⑤

1. 事業名称：通常学級における合理的配慮
ー特別支援教育の視点を生かした学習指導・生徒指導ー
2. 事業種別：共催
3. 申請者：山本 理絵（愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科 教授）
4. 共催：愛知県立大学生涯発達研究所、瀬戸市教育委員会発達支援室、
愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年8月26日（木） 14:00～16:00
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 講師：山田 充氏
(広島県廿日市市教育委員会、特別支援教育士スーパーバイザー)
8. 参加者数：53名（一般・学生）

【概要】

小学校の通級指導教室等の指導経験豊かな講師から、「インクルーシブ教育システム」「ユニバーサルデザイン」「合理的配慮」の考え方、「特別支援教育の視点を生かした学習指導要領」の内容についておさえたうえで、合理的配慮の具体的方法について事例を挙げながらお話された。質疑応答も短時間であったが活発に行われた。

【チラシ】



【講座の様子】



【講座の様子】



令和3年度 地域連携事業 実施結果⑥

1. 事業名称：多文化ソーシャルワークの視点から
異文化「終活」を考えるセミナー（その2）
2. 事業種別：共催
3. 申請者：山本 理絵（愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科 教授）
4. 共催：愛知県立大学生涯発達研究所、あいち多文化ソーシャルワーカーの会、
愛知県立大学地域連携センター、多文化ソーシャル・ムーブメント(TSM)、
外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト
5. 開催日時：令和3年8月28日（土） 13：30～16：30
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 登壇者：ネストール・プノ氏（フィリピン出身者）
原田 美河 氏（ベトナム出身者）
金 順愛 氏（在日コリアン）
シバラム カドカ 氏（ネパール出身者）
8. 参加者数：109名（一般・学生）

【概 要】

王栄氏の趣旨説明の後、各国の出身者から「終活」事情～葬儀の伝統的儀式とその変化、宗教・民族、都市と農村、地域による葬儀の形態、考えや文化・死生観の違い、貧富の格差による差異、日本で亡くなった場合の困難、老後をどこで過ごしたいか等について報告があった。

その後の討論では、高齢者が母語でしか話せず家庭内でコミュニケーションがうまくできなくなったときのことや、自国の文化・葬儀方法で行いたい場合の問題点などが話し合われた。価値観の多様化の尊重・受容や死生観を話し合える環境づくりの重要性なども課題として出された。

【チラシ】



【講座の様子】



令和3年度 地域連携事業 実施結果⑦

1. 事業名称：保育施設における 2021 年度の新型コロナウイルス対策を学ぼう
2. 事業種別：共催
3. 申請者：清水 宣明（愛知県立大学看護学部看護学科 教授）
4. 共催：愛知県立大学地域災害弱者対策研究所、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和 3 年 10 月 15 日（金） 13：00～15：00
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
／愛知県立大学長久手キャンパス K 棟 小ホール
7. 講師：清水 宣明（愛知県立大学看護学部看護学科 教授）
8. 参加者数：112 名（一般）（オンライン：102 名 会場：10 名）

【講座の様子】



【チラシ】



愛知県立大学 地域連携事業

公開講座「保育施設における2021年度の 新型コロナウイルス対策を学ぼう」

新型コロナウイルスの感染拡大開始から1年が過ぎましたが、その解決は見えません。2021年度においても、秋から冬にかけて季節性の感染拡大が発生することが懸念されます。保育園は三密（密着、密集、密接）を避けることが困難でクラスターが発生しやすい環境にあります。業務停止が社会に与える影響が極めて大きいことから、感染の拡大と人の集まりの防止が切実な課題です。

本講座では、2020年度の経験を含めて、2021年秋～冬の感染拡大に備える対策を学びます。




【ご協力】

新型コロナウイルス感染症拡大の状況に市じ、対策方法はオンラインで伝達し、保護者に共有が求められます。

最新の状況については、地域連携センターWebサイトをご覧ください。

日時 2021年10月15日(金) 13:00～15:30

場所 愛知県立大学長久手キャンパス1ホール（会場定員40名）
○オンライン（Zoom）

講師 清水 宣明 教授（愛知県立大学看護学部）

参加費無料

地域連携センターWebサイト
申込はこちら



■ 申込方法（いずれかの方法でも申込できます）

① 電話による申込。申込番号が送付されます。

② 愛知県立大学 地域連携センターWebサイトの申込システム
URL: <http://www.aic.ac.jp/kyoukai/kyoukai/kyoukai.html>

③ 申込QRコードのQRコードをスマホで読み取り

※ F A X
「申込希望の新型コロナウイルス対策を学ぼう」、「氏名（ふりがな）」、「電話番号」、「Eメール」を、
0661-864-1104 までFAXしてください。

【お問い合わせ】
愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課
〒480-1198 愛知県長久手市赤坂西園1522番3
メール: renkei@bur.sci-hp.u-aic.jp

主催：愛知県立大学
（地域連携部客員研究員研究所・地域連携センター）

【講座の様子】



令和3年度 地域連携事業 実施結果⑧

1. 事業名称：世界展開する海外日本研究者に学ぶ
東アジアにおける知の伝播のあり方 ―漢籍の受容から考える―
2. 事業種別：共催
3. 申請者：中根 千絵（愛知県立大学日本文化学部国語国文学科 教授）
4. 共催：愛知県立大学日本文化学部、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年10月27日（水） 14:00～17:00
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 講師：曹 景恵 氏（国立台湾大学文学院日本語文学系所 副教授）
8. コメント：斎藤 夏来 氏（名古屋大学人文学研究科 教授）
上川 通夫（愛知県立大学日本文化学部歴史文化学科 教授）
9. 参加者数：180名（一般・学生）

【概要】

学長挨拶で、カノンとして西洋にはラテン語書籍、アジアには漢籍があるという本講演の世界的位置づけがなされた後、台湾大学と結んで曹先生の講演を実施した。講演内容は老子の注釈書が日本文学（徒然草、沙石集）や中世神道書にいかに関与を与えたかというもので、上川先生と斎藤先生から漢籍の影響が一般の人や武家にもあった例が示された後、聴講者との活発な質疑応答が行われた。学部長挨拶で近世の例も披露され、全体に充実した講演会となった。

【チラシ】



【講座の様子】



【講座の様子】



令和3年度 地域連携事業 実施結果⑨

1. 事業名称：愛知県立大学 発達障がいフォーラム
障害のある児童生徒を支援する ICT を活用した合理的配慮
2. 事業種別：共催
3. 申請者：三山 岳（愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科 准教授）
4. 共 催：瀬戸市教育委員会・瀬戸市発達支援室
愛知県立大学生涯発達研究所、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年10月28日（木） 14:00～16:30
6. 会 場：オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 講 師：近藤 武夫 氏（東京大学先端科学技術研究センター 准教授）
8. 参加者数：88名（一般・学生）

【概 要】

現在のICTを用いて行われている先端科学技術研究センターのプロジェクトが講師から紹介された。具体的にはAIを用いて即時に文字おこしできる技術を用いて、ライブ講義の内容をキャプション付きで示すことができたり、発達障がいや身体障がいのある学生が最先端の技術を用いることで、自身の研究プロジェクトを発展させたりする様子が動画で紹介された。質疑応答では具体的に市町村や学校に合理的配慮を求める際にどのようにアプローチしていけばよいかということや、センターが実施している進学や就労への移行支援とリーダー養成プロジェクト（DO-IT JAPAN）についての質問などが寄せられた。

【チラシ】



【講座の様子】



令和3年度 地域連携事業 実施結果⑩

1. 事業名称：和装本講座
2. 事業種別：共催
3. 申請者：中根 千絵（愛知県立大学日本文化学部国語国文学科 教授）
4. 共催：愛知県立大学日本文化学部、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年11月3日（水・祝） 14：00～17：00
6. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス K棟 小ホール
7. 講師：林 知左子 氏（西尾市岩瀬文庫 学芸員）
8. 参加者数：18名（一般）

【概要】

和装本の歴史や保存についての講義後、和紙を使って和装本づくりのワークショップを開催した。

【チラシ】



【講座の様子】



【講座の様子】



令和3年度 地域連携事業 実施結果⑪

1. 事業名称：文化人類学者を招く 「時間に支配されないということ」
2. 事業種別：共催
3. 申請者：田上 恭子（愛知県立大学看護学部看護学科 准教授）
4. 共催：愛知県立大学不安と生の研究会、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年11月6日（土） 13:30～15:30
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
／愛知県立大学長久手キャンパス S 棟 S201 教室
7. 講師：野村 直樹 氏
(名古屋市立大学大学院人間文化研究科 特任教授・名誉教授)
8. 参加者数：200名（一般・学生）（オンライン：150名 会場：50名）

【概要】

「時間に支配されないということ」をテーマに、文化人類学者の野村直樹氏から、新たな時間概念としての「E系列の時間」を中心に講演がなされた。時間を“区切る”ということ、時間概念の整理、E系列の時間(生きた時間)とは何かなど、時間という奥深く難解なテーマについて、さまざまな興味深い具体例を挙げてのお話や、会場参加者を巻き込んだ実演もあり、とても刺激的な講演であった。

【講座の様子】



【講座の様子】



【講座の様子】



令和3年度 地域連携事業 実施結果⑫

1. 事業名称：令和3年度第1回 愛知県立大学 世界史セミナー
2. 事業種別：共催
3. 申請者：菊池 好行（愛知県立大学外国語学部英米学科 准教授）
4. 共 催：愛知県立大学世界史研究会、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年11月20日（土） 16：00～18：00
6. 会 場：オンライン（Zoom ウェビナー）／サテライトキャンパス
7. 講 師：石橋 悠人 氏（中央大学文学部 教授）
8. 参加者数：35名（一般・学生）（オンライン：17名 会場：18名）

【概 要】

世界各地で存在していた多様な時間概念・習慣が「均質」「普遍的」な時間の体系に移行するプロセスを、多数の植民地・影響圏を持ったイギリス帝国の重要性に着目して説き明かす講演が行われた。「時間に取りつかれた」近代イギリス社会での産業革命、鉄道網確立、海洋帝国建設、時報伝達技術の発達などを主因とする時間意識の転換にはじまり、帝国植民地におけるイギリスの時間概念の「文明化」のロジックによる教化・普及とグリニッジ天文台が果たした役割、国際会議などでの世界標準時の成立・定着過程が次々と考察されていった。

【チラシ】



愛知開立大学 地域連携事業

2021年度 第1回愛知開立大学世界史セミナー

時間の帝国

—近代イギリス社会とグリニッジ標準時の形成—



19世紀イギリスでは鉄道、電信線の発達や海外貿易の拡大の中で、時間の標準化が切実な課題と認識され、これに呼応してさまざまな法案の改正により、社会全体で正確な標準時の発布が図られました。概説として学芸・文芸的・現地学歴しが、グリニッジの時間制度や制度を概観的に導入しました。

本講演では、このようなイギリス社会の「時間の意味」の出来やその歴史性における、タイムゾーンや標準時の形成について論じています。

講師 石橋 悠人 氏
(中央大学文学部 教授)

日時 2021年11月20日(土)16:00~18:00

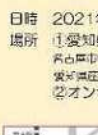
場所 愛知開立大学サテライト・キャンパス (定員30名)

西宮市中央区中町4丁目4-38

愛知県産業観光センター「ワインクあいち」15階

※オンライン (Zoomウェビナー)

参加費無料



会場：愛知県産業観光センター (西宮市中央区、近鉄西宮駅南口徒歩10分)

会場：愛知県産業観光センター (西宮市中央区、近鉄西宮駅南口徒歩10分)

【申込方法】 いずれかの方法でお申込みください。
(申込は必ず返信。申込締切の順です。)

① 告知メールを受信 申込確認センター 告知メールシステム
<https://www.bun-ichi-pu.ac.jp/notice/>

② FAX
 告知確認センター 告知メールシステム 告知メールシステム
 0561-614 1104 告知FAXに送付してください。

③ 郵送
 告知確認センター 告知メールシステム 告知メールシステム
 〒480-1198 告知確認センター 告知メールシステム 告知メールシステム
 〒480-1198 告知確認センター 告知メールシステム 告知メールシステム

【講座の様子】



【講座の様子】



令和3年度 地域連携事業 実施結果⑬

1. 事業名称：非正規滞在 仮放免者の声を聞く—日本の入管制度を問う—
2. 事業種別：共催
3. 申請者：山本 かほり（愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科 教授）
4. 共催：支援団体 START、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年11月24日（水） 14:00～16:30
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
／愛知県立大学長久手キャンパス K棟 多目的ホール
7. 講師：鳥井 一平 氏（NPO 移住連 代表）
8. 参加者数：60名（一般・学生）（オンライン：21名 会場：39名）

【概要】

第一部は基調講演として、NPO 移住連代表の鳥井氏に講演いただいた。

第二部は「当事者の声を聞く」と題し、支援団体 START に参加する本学学生司会のもと、東海地区在住の非正規滞在・仮放免者の方のお話を伺った。

【講座の様子（第一部）】



【チラシ】

非正規滞在 仮放免者の声を聞く

～日本の入管制度を問う～

受講料 **無料**

日程 **2021年11月24日(水)**
●14:00～16:30

基調講演講師 鳥井一平さん (NPO移住連代表)

当事者の声を聞く 東海地区在住の非正規滞在・仮放免者たち

会場 愛知県立大学長久手キャンパス
多目的ホール(60名)/オンライン

「多文化共生」が日本社会の課題とされる一方で、「非正規滞在」の処遇が大きな課題となっています。入管の「裁量」とされる無期限の収容、そこでの処遇、さらには仮放免者の生活保障の問題など、課題は多くあります。「多文化共生」を考える上で、なぜ「非正規滞在者」および仮放免者の問題を考える必要があるのか？かれらもまた日本社会に生きる一員であることの認識からはじめ、私たちはこれらの問題にどう向き合うべきなのかを考えたいと思います。基調講演に鳥井一平さん(移住連代表)その後、仮放免者たちの声を支援団体STARTに参加する本学学生たちの司会で聞きたいと思います。

【講座の様子（第二部）】



令和3年度 地域連携事業 実施結果⑭

1. 事業名称：被災資料レスキュー方法を実践的に学ぶ
2. 事業種別：共催
3. 申請者：大塚 英二（愛知県立大学日本文化学部歴史文化学科 教授）
4. 共催：愛知県立大学日本文化学部、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年11月24日（水） 14：00～17：00
6. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス S棟 S201 教室
7. 講師：天野 真志 氏（国立歴史民俗博物館 特任准教授）
8. 参加者数：97名（一般・学生）

【概要】

前半（第1部）は水損資料レスキューの様子をスライドで示して要点を概説した座学的な講演で、後半（第2部）は実際の水損資料に模したものを会場で提示し、そのレスキュー方法をめぐって講座参加者と携帯アプリを通じて議論を行い、手わざをスクリーンに示して解説するというものだった。そして最後に、全体にわたる質疑がなされ、災害時に人命にかかわることが最優先されるのは当然であるが、同時に未指定文化財を含めた文化資料のレスキューの行われることも重要であり、また専門家でなくともレスキューに参加することが求められており、若い学生の方々にもぜひ関わってほしいことなどが提起され、盛況なうちに講座は終了した。

【チラシ】

【講座の様子】



令和3年度 地域連携事業 実施結果⑮

1. 事業名称：第4回 国際セミナー 2021年、世界の展望
2. 事業種別：主催
3. 申請者：奥野 良知
(愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授)
4. 主催：愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年12月3日(金) 18:30~20:30
6. 会場：オンライン (Zoom ウェビナー)
7. 講師：鈴木 隆 (愛知県立大学外国語学部中国学科 准教授)
加藤 直人 氏 (中日新聞・東京新聞 論説委員)
三牧 聖子 氏 (高崎経済大学経済学部 准教授)
8. 司会：奥野 良知
(愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授)
9. 参加者数：68名 (一般・学生)

【概要】

2020年の世界の回顧と2021年の世界の展望について、3名の講師がそれぞれの専門分野から、米国と中国の各国政治、及び米中関係の動向を中心に報告を行った。

【チラシ】



【講座の様子】



令和3年度 地域連携事業 実施結果⑯

1. 事業名称：新旧大陸文明遭遇の光と影：征服500年/独立200年のメキシコから未来への提言
2. 事業種別：主催
3. 申請者：谷口 智子
(愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授)
4. 主催：愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年12月11日(土) 14:00~17:40
6. 会場：オンライン (Zoom ウェビナー)
7. 講師：杉山 三郎 (愛知県立大学名誉教授、アリゾナ州立大学研究教授)
レオナルド・ロペス・ルハン氏
(メキシコ国立人類学歴史学研究所、アステカ大神殿プロジェクト団長)
山本 太郎 氏 (長崎大学熱帯医学研究所 教授)
大越 翼 氏 (京都外国語大学外国語学部 教授)
白河 宗利 (愛知県立芸術大学美術学部 准教授)
メルバ・プリーア 閣下 (駐日メキシコ大使)
8. 司会：谷口 智子
(愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授)
千葉 裕太 (南山大学外国語学部 講師)
9. 参加者数：91名 (一般・学生)

【講座の様子】



【チラシ】

新旧大陸文明遭遇の光と影
征服500年/独立200年の
メキシコから未来への提言

2021.12.11(土) 14:00~17:40 参加費 無料

■オンライン開催 (Zoomウェビナー) ※視聴用の台帳はありません。

【講師】
権威・外交から：
日本-メキシコの過去・現在・未来
小池 啓弘 (愛知県立大学 外国語学部 教授)

【司会】
名古屋から：
新大陸における感染症を学ぶ
山本 太郎 氏 (長崎大学 熱帯医学研究所 教授)

【講師】
芸術から：
メキシコ画壇 北川民次作品の魅力
一作品調査からわかったこと
白河 宗利 (愛知県立芸術大学 美術学部 准教授)

【講師】
考古学から：
メキシコ古代文明史に学ぶ
杉山 三郎 氏 (愛知県立大学名誉教授、アリゾナ州立大学研究教授)
レオナルド・ロペス・ルハン氏 (メキシコ国立人類学歴史学研究所、アステカ大神殿プロジェクト団長)

【講師】
民族史から：
歴史の中のマヤ民族、現在(いま)、そしてこれから
大越 翼 氏 (京都外国語大学 外国語学部 教授)

【講師】
メキシコの過去、現在、未来
メルバ・プリーア 閣下 (駐日メキシコ大使)

【申込方法】
Zoomウェビナーに参加するためには、事前にZoomアプリをダウンロードする必要があります。
Zoomのインストール方法はこちらをご覧ください。
https://zoom.us/join
※Zoomのインストール方法については、以下のリンク先をご覧ください。

【申込先】
愛知県立大学 研究支援・地域連携課
TEL 0561-76-8843 E-mail: lrenkei@bur.aichi-pu.ac.jp

令和3年度 地域連携事業 実施結果⑰

1. 事業名称：インドネシア現地経済事情講習会
2. 事業種別：主催
3. 申請者：小座野 八光（愛知県立大学外国語学部中国学科 准教授）
4. 主催：愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年12月17日（金） 18:30～20:30
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 講師：松井 和久 氏（愛知県立大学客員共同研究員）
8. 参加者数：102名（一般・学生）

【概要】

経済成長著しいインドネシアと「ものづくり県」愛知の関係は深く、企業の関心は高い。インドネシアの最新政治経済事情をわかりやすく解説した。

【チラシ】

愛知県立大学 公開講座

インドネシア現地経済事情講習会
新型コロナ禍でのインドネシア経済と外国投資動向

日時 2021年12月17日（金）
 18:30～20:30

形式 オンライン開催（Zoomミーティング）
 ※対面式会場はありませんので、ご注意ください。

講師 愛知県立大学 客員共同研究員
 元JETROアジア経済研究所主任研究員
 松井和久氏

■ 募集期間 | 2021年12月14日（火）まで

■ 申込方法 | いずれかの方法でお申込みください。

① 愛知県立大学 地域連携センターWeb申込みシステム
<http://www.buraichi-pu.ac.jp/renkei/>

② メール
 メールタイトルを「インドネシア現地経済事情講習会」とし、
 氏名（ふりがな）、メールアドレスを記載して、
renkei@buraichi-pu.ac.jpあてに送信してください。

【問い合わせ】
 愛知県立大学 学務情報部 研究支援・地域連携課
 〒480-1198 愛知県長久手市沢ヶ谷通1522番3
 メール：renkei@buraichi-pu.ac.jp

【講座の様子】



令和3年度 地域連携事業 実施結果⑩

1. 事業名称：インドネシア語講座（初～中級）
2. 事業種別：主催
3. 申請者：小座野 八光（愛知県立大学外国語学部中国学科 准教授）
4. 主催：愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和4年1月25日（火）～28日（金） 各日 18：30～20：30
6. 会場：オンライン（Zoom ミーティング）
7. 講師：高地 薫 氏
（神田外語大学外国語学部専任講師・愛知県立大学客員共同研究員）
8. 参加者数：28名（一般）

【概要】

インドネシア語の構造についての最低限の知識を、例文練習で無駄なく学べるよう配慮された4日連続の講座で、「限られた時間でインドネシア語の全体感を学ぶことができた」と受講者にも好評であった。

【チラシ】

愛知県立大学 公開講座

インドネシア語講座(初～中級)

インドネシア語の構造についての最低限の知識を、例文練習で無駄なく学びます。
取っ付きにくいインドネシア・日本語辞典を使えるようにし、現地生活を学びの場に変えさせることが、この講座の目標です。
初心者・リピーターにも配慮したカリキュラムになっています。

日時 令和4年 1月25日(火)～28日(金)
18：30～20：30 ※ 4日連続の集中講座です。

場所 オンライン（Zoom）開催
※対面式会場はありませんので、ご注意ください。
PDF化したテキストを準備します。

講師 高地 薫 氏
神田外語大学 外国語学部 専任講師・愛知県立大学 客員共同研究員

■ 募集期間 | 2022年1月21日（金）まで
■ 申込方法 | いずれかの方法でお申込みください。
① 愛知県立大学 地域連携センターWeb申し込みシステム
<http://www.buraidhi-pu.ac.jp/renkel/>
② メール
メールタイトルを「インドネシア語講座」とし、氏名（ふりがな）、メールアドレスを記載して、renkel@buraidhi-pu.ac.jp宛てに送信してください。

【問い合わせ】
愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課
〒480-1198 愛知県長久手市東ヶ岡1522番3
メール：renkel@buraidhi-pu.ac.jp

【講座の様子】



令和3年度 地域連携事業 実施結果⑨

1. 事業名称：令和3年度第2回 愛知県立大学 世界史セミナー
2. 事業種別：共催
3. 申請者：菊池 好行（愛知県立大学外国語学部英米学科 准教授）
4. 共催：愛知県立大学世界史研究会、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和4年2月19日（土） 16：00～18：00
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 講師：今野 元 氏
（愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻 教授）
8. 参加者数：88名（一般）

【概要】

ドイツ帝国成立（1871年）以前のドイツの国家形態の一例としてのドイツ連邦を再評価し、かつエステルライヒ（オーストリア）がドイツ史上果たした大きな役割を説き明かす講演が行われた。ドイツ連邦をめぐる様々な学説史を概括したうえで、神聖ローマ帝国の国制、フランス革命による神聖ローマ帝国の崩壊、ナポレオンの主導で結成されたライン同盟、メッテルニヒの主導で設立された国家連合としてのドイツ連邦、ドイツ連邦の連邦国家化への動き、ドイツ連邦の解体とドイツ帝国の成立過程を次々と考察していき、結論としてドイツ連邦を国際協調・多民族共存とナショナリズムの間の中庸、近世的要素と近代的要素との共存を求める試みとして位置づけた。

【チラシ】

愛知県立大学 地域連携事業

2021年度 第2回愛知県立大学世界史セミナー

ドイツ連邦とは何か

ドイツ国制史におけるその位置づけの再考

ドイツ帝国成立以前にドイツはなかったという歴史観が強い。1871年以前のドイツの国家形態については理解が浅い。それでも最近では、神聖ローマ帝国やライン同盟については紹介が増えてきたが、ドイツ連邦についてはまだのようには思われます。

本稿では、ドイツ連邦をドイツ国制史のなかで位置づけ、それが連邦国家的国家連合であり、メッテルニヒによる勢力均衡の産物であったことを示していきます。

講師 今野 元 教授
愛知県立大学 外国語学部
ヨーロッパ学科 ドイツ語圏専攻

参加費無料

日時 2022年2月19日(土) 16：00～18：00

場所 ①愛知県立大学サテライトキャンパス（定員30名）
名古屋市中村区名駅4丁目4-38
愛知県産業労働センター「フイックあいち」15階
②オンライン（Zoomウェビナー）（定員500名）

【申込方法】
愛知県立大学 地域連携センターWebサイトからお申込みください。
右のQRコードもしくは下記URLからアクセスしてください。
(<http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/regionalliances/020388.html>)

主催：愛知県立大学（国際文化研究、地域連携センター）
【お問い合わせ】
愛知県立大学 地域連携センター 企画課・地域連携課 メール：renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

【講座の様子】



4. 公開講座

(4) 地域連携事業

<地域貢献活動>

令和3年度 地域連携事業 実施結果①

1. 事業名称：年金対話集会
2. 事業種別：共催
3. 申請者：中尾 友紀（愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科 教授）
4. 共催：厚生労働省年金局、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年7月7日（水） 14:00～16:00
6. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス K棟 多目的ホール
7. 参加者数：50名（学生46名・年金局職員4名）

【概要】

第1部では、古川弘剛年金広報企画室長が「わたしの年金とみんなの年金」と題して、公的年金の仕組みについて解説した。第2部では、2グループに分かれて、学生からの質問に年金局職員が答えていく形式で対話した。

特に第2部では、少子高齢化の年金財政への影響や、障害者の日常生活と年金受給額の問題等の社会問題で議論になったり、学生納付特例制度による未納分の追納方法や短時間労働者となった場合に加入した方がよいかどうか等の身近な問題について説明を受けたりと、大変有意義な時間となった。

【第一部の様子】



【第二部の様子】



令和3年度 地域連携事業 実施結果②

1. 事業名称：愛知県立大学国際関係学科「旅の写真展」「愛知県立大学海外協定大学写真展」
2. 事業種別：共催
3. 申請者：亀井 伸孝（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授）
4. 共催：愛知県立大学国際関係学科「旅の写真展」実行委員会、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年11月2日（火）～令和3年11月30日（火）
6. 会場：名古屋市営地下鉄「東山公園」駅コンコース

【概要】

国際関係学科の秋の恒例行事「旅の写真展」を開催した。同学科関係者28人が6か国で撮影した、計79点の作品を展示した。2011年に始まった同学科の写真展の累計作品数は計866点に上り、撮影地は世界83の国・地域に達した。

また、今回初めての試みとして、本学の海外協定大学に写真提供を呼びかけ、送ってもらった写真作品を展示するコーナーを併設した。アメリカ、ロシア、中国、ドイツ、ベルギー、オーストラリアの七つの海外協定大学から寄せられた、計19点の作品が展示された。

【写真展の様子】



【協定大学写真コーナー】



【設営した学生たち】



（いずれも2021年11月、東山公園駅にて主催者撮影）

令和3年度 地域連携事業 実施結果③

1. 事業名称：「愛知県における医療通訳に関する調査」オンライン報告会
2. 事業種別：共催
3. 申請者：糸魚川 美樹
(愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 准教授)
4. 共催：愛知県立大学医療通訳研究グループ、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年12月18日(土) 14:00~16:00
6. 会場：オンライン (Zoom ウェビナー)
7. 参加者数：62名

【概要】

2019年度、2020年度学長特別教員研究費による学部間連携・産学公連携の研究として実施した、愛知県における外国人診療及び医療通訳の利用に関するアンケート調査、インタビュー調査の結果のオンライン報告会を開催。本学4学部と愛知県多文化共生推進室、京都大学との連携で計10名の研究グループを立ち上げ、医療機関(医師、看護師、助産師、保健師、窓口スタッフ等)、医療通訳者、患者等に対する調査を実施し、それぞれの専門分野から調査結果を分析し報告した。

【講座の様子】



【チラシ】



5. 自治体等との連携

(1) 愛知県

あいち認知症パートナー大学

平成 29 年に愛知県が策定した「あいちオレンジタウン構想第 1 期アクションプラン」に基づき、愛知県とともに認知症に理解の深いまちづくりに「じぶんごと」として取り組む大学として、平成 30 年に「あいち認知症パートナー宣言」をし「あいち認知症パートナー大学」として登録されました。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしながら認知症の方々やご家族をどのように支援できるのか、学生や行政、地域の方々と共に考え取り組みを行いました。

○認知症カフェ「喫茶オレンジ」

- ・平成 30 年度から長久手市社会福祉協議会による長久手の認知症カフェ「喫茶オレンジ」の運営に協力しています。今年度は運営会議を 9 回開催し、教員・職員が参加して、長久手市および長久手市社会福祉協議会と意見交換を重ねながら、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしながらどのように運営するか、学生が継続して参加できる仕組みを含め検討しました。
- ・飲食は控え、十分な間隔が保てるように机や座席を配置し、検温、消毒、マスクの着用等対策を十分に行ったうえで、認知症カフェを 6 回開催しました。10 月からは学生も感染対策を万全にした上で、対面で参加をしました。学生延べ 16 名が参加し、認知症当事者を含む市民の方々との交流を楽しみました。



【認知症カフェ「喫茶オレンジ」の様子】

○オレンジ本棚

令和元年度から学術研究情報センター長久手キャンパス図書館内に「オレンジ本棚」（認知症関連図書コーナー）を設置しています。今年度も新しい書籍や視聴覚資料を随時本棚に展示し、認知症を学生にも「じぶんごと」として理解してもらえるよう、啓発をしています。

認知症サポーター養成講座 実施結果

1. 事業名称：認知症サポーター養成講座@オンライン
2. 事業種別：共催
3. 共催：長久手市、長久手市社会福祉協議会、愛知県立大学地域連携センター
4. 開催日時：令和3年9月9日（木） 14：00～15：30
5. 会場：オンライン（Zoom ミーティング）
6. 講師：加藤 光昭 氏
(長久手市社会福祉協議会 職員・オレンジクレーテサポーター)
7. 司会：奥田 隆史 教授（地域連携センター長）
8. 参加者数：18 名（学生・一般・教職員）

【概 要】

昨年度はコロナ禍で開催できなかったため、今年度はコロナ禍でも対応できるよう、初のオンライン開催を試みた。

司会の奥田センター長による講師紹介の後、奥田センター長作成の前座 PV を上映し、9 月のアルツハイマー月間の話・愛県大の認知症パートナー大学としての関わり・認知症を特集する雑誌・認知症を題材とする映画の紹介をした。

その後、講師により、動画やテキストなどを用いて、認知症に関する知識を深めるための講義を行った。

講座中に、認知症に関するクイズで参加者に○×をジェスチャーで回答してもらうことや質疑応答の機会を随所に作って参加者との交流を試みたところ、参加者から質問が活発に出て相互に対話のある講座となった。

【講師の加藤氏】



【講座運営全体の様子】



【司会の奥田センター長】



令和3年度 あいちシルバーカレッジ専門コース 実施結果

テーマ 「観光」
 会 場 愛知県社会福祉会館（4日目以外）
 参加者 16名（あいちシルバーカレッジ卒業生）

実施日程および内容

	実施日	講座内容
1日目	11月16日（火）	基礎講座① 「愛知県における高齢社会の現状」 愛知県福祉局高齢福祉課 生きがい・福祉医療グループ 課長補佐 伊藤 晶 氏
		基礎講座② 「愛知県の観光振興」 愛知県観光コンベンション局観光振興課 主査 渡邊 亨介 氏
2日目	11月17日（水）	講義① 「尾張徳川家と瀬戸定光寺との関係を考える」 愛知県立大学日本文化学部 大塚 英二 教授
		講義② 「外国人観光客への情報提供」 愛知県立大学外国語学部 高阪 香津美 准教授
3日目	11月18日（木）	活動報告① 山田 恭正 氏
		活動報告② 稲熊 敏長 氏
4日目	11月19日（金）	フィールドワーク（瀬戸蔵ミュージアム）
		瀬戸市のシニアの社会参加活動報告

※時間は各日とも10:00～12:00

【講座の様子】



【講座の様子】



「愛知県地域づくり活動フォーラム」 実施結果
(愛知県との共催)

1. 日 時：令和4年1月25日（火） 13：30～15：00
2. 会 場：オンライン（Zoom ウェビナー）
3. 参加者数：66名（市町村職員、一般等）
4. 主 催：愛知県、愛知県地域づくり団体交流協議会（※）、愛知県立大学
 ※県内地域づくり団体相互間の交流の推進や地域づくり団体への情報提供を
 目的として平成6年に県が設立
5. 当日のプログラム：
 - ① 令和3年度愛知県地域づくり活動表彰式開催報告及び団体紹介
 《表彰団体》
 岩倉五条川桜並木保存会（岩倉市）
 まちなか賑わいづくり実行委員会（田原市）
 壱町田湿地を守る会（武豊町）
 - ② 愛知県立大学 学生グループ発表
 テーマ：文化活動を通した、子どもとつくるコミュニティ
 ～保見団地の壁画デザイン活動を通して～
 発 表：ほみほみ育み隊
 宮澤 采里・七原 菜乃花・井上 涼帆・木村 美穂・錢座 みなみ
 （教育発達学科3年）
 大場 菜穂・加古 鮎美・今西 理斗（歴史文化学科3年）
 石井 杏奈（ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻3年）
 菅沼 令奈（国際関係学科3年）
 - ③ 講演
 テーマ：地域に飛び出す公務員の挑戦 ～「egao家」から「未来醸造場」へ～
 講 師：和田 真人氏（奈良県生駒市市民活動推進課 主幹）

【講演の様子】



5. 自治体等との連携

(2) 長久手市

長久手市大学連携調整会議への参加について

長久手市と市内 4 大学（愛知県立芸術大学、愛知医科大学、愛知淑徳大学、愛知県立大学）は、まちづくりにおいて、大学が有する知的資源や特色を活かし、学術研究の場や機会を大学に提供するなど、相互の発展や充実に向けて組織的な連携を深めることにより、「人が輝き 緑があふれる 交流都市」としてふさわしい地域社会づくりに資することを目的として、平成 24 年 12 月 20 日に長久手市大学連携推進協議会を設置しました。

平成 30 年 3 月には、長久手市において「長久手市大学連携推進ビジョン 4U」が策定され、長久手市内 4 大学とその学生・市民・企業などとの地域プラットフォームを築いて最大限の相乗効果を発揮させるため、令和 2 年 4 月 1 日に長久手市大学連携推進協議会を発展させた長久手市大学連携調整会議を設置しました。

本会議の主旨に基づき、令和 3 年度は以下の事業を実施いたしました。

○長久手市大学連携調整会議の開催

第 1 回 令和 3 年 7 月 9 日（金） オンライン開催

第 2 回 令和 4 年 1 月 7 日（金） オンライン開催

○ワーキングの実施

愛知県立芸術大学 令和 4 年 2 月 6 日（土）

「町づくりのデザイン公開授業」

愛知医科大学 令和 4 年 2 月 26 日（土）

「模擬患者を体験してみよう」（オンライン）

愛知県立大学 令和 4 年 3 月 6 日（日）

「長久手まち歩きマップ作成ワークショップ」

愛知淑徳大学 令和 4 年 3 月 12 日（土）

「節分を楽しもう！」

報告会&ごちゃまぜワークショップ（オンライン） 令和 4 年 2 月 20 日（日）

○協働まちづくり活動補助金

市民活動団体（NPO、ボランティア団体など）が身近な地域の課題を解決するために、独自の視点で自主的に取り組む事業の活動経費を長久手市が補助している。

令和 3 年度は、愛知県立大学学生同好会「日本文化発信サークル ALEQ」が「長久手市観光ガイドマップづくり」で応募し、採択された。

○その他関係各課からの依頼の窓口業務

長久手市大学連携 4U ワーキング
「長久手まち歩きマップ作成ワークショップ」実施結果

○オンライン検討会

1. 開催日時：令和 4 年 2 月 16 日（水） 10：00～11：00
2. 開催場所：オンライン（Zoom ミーティング）
3. 参 加 者：松宮 朝（愛知県立大学教育福祉学部 准教授）
山村 亜希 氏（京都大学大学院地球環境学堂 教授）
濱 雄亮 氏（東京交通短期大学 准教授）
愛知県立大学 学生同好会 ALEQ
4. 実施内容：ALEQ 作成の長久手リニモ沿線観光マップについて意見交換した。

○ワークショップ

1. 事業名称：長久手まち歩きマップ作成ワークショップ
2. 開催日時：令和 4 年 3 月 6 日（日） 12：30～16：00
3. 開催場所：リニモテラス公益施設
4. 講 師：山村 亜希 氏（京都大学大学院地球環境学堂 教授）
濱 雄亮 氏（東京交通短期大学 准教授）
5. 参 加 者：30 名（一般市民、学生、学生同好会 ALEQ、教職員）
6. 実施内容：
 - ・愛知県立大学の学生同好会 ALEQ が作成した長久手リニモ沿線観光マップを紹介
 - ・長久手の古地図の分析をもとにしたマップの検討
 - ・地図を見ながらまち歩きをして、現在の状況と比較

【ワーキングの様子】



5. 自治体等との連携

(3) 豊田市

令和3年度 豊田市公開講座 実施結果①

1. 事業名称：災害弱者の避難対策の考え方と実践
2. 事業種別：共催
3. 申請者：清水 宣明（愛知県立大学看護学部看護学科 教授）
4. 共催：豊田市、愛知県立大学地域災害弱者対策研究所、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年8月7日（土） 13:00～15:00
6. 会場：豊田市 崇化館交流館 第2会議室
7. 講師：清水 宣明（愛知県立大学看護学部看護学科 教授）
8. 参加者数：10名（一般）

【概要】

地域に暮らす様々な災害弱者の命を守るための実戦的な対策を構築するための基礎知識について講義をした。

【講座の様子】



【講座の様子】



【チラシ】

愛知県立大学
AICHI PREFECTURAL UNIVERSITY

愛知県立大学の教員が豊田市にて
公開講座を開催いたします！

災害弱者の避難対策の考え方

講師：愛知県立大学看護学部 清水 宣明 教授

講座内容	様々な災害が頻発し東海トラフ地震への不安も高まっています。災害が発生したときに正しい立場に立たされる人たちの対策について解説しますので、実際の対策を作る上での参考にしていただきたいと思います。		
開催日時	2021年8月7日（土）	13時00分～15時00分	（受付開始 12時30分）
募集人数	40人（申込必着・先着順）		
受講料	無料		
開催場所	豊田市 崇化館交流館 第2会議室 〒471-0035 愛知県豊田市小坂町12丁目100番地 TEL: 0565-33-7461		
申込方法	愛知県立大学地域連携センターホームページ（以下QRコード、 http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/ ）専用WEBサイトより申込み ※FAXでも可。企画名「災害弱者の避難対策の考え方」、氏名（ふりがな）、電話番号、FAX番号を明記のうえ、 FAX番号（0561-64-1104）までお送りください。		
申込締切日	2021年8月6日（金）午後9時		

ご参加お待ち申し上げております。

お問い合わせ 愛知県立大学 研究支援・地域連携課
TEL: 0561-76-8843 FAX: renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

【ご案内（重要）】

- 講座に参加される方は、マスクの着用・手指の消毒にご協力をお願いします。
- 新型コロナウイルス感染症拡大の状況に応じて、開催を延期または中止する可能性があります。
- 最新の状態については、[地域連携センターWebサイト](http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/)をご覧ください。

愛知県立大学地域連携センターWebサイト: <http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/>

令和3年度 豊田市公開講座 実施結果②

1. 事業名称：保育施設の災害対策・新型コロナウイルス感染対策
2. 事業種別：共催
3. 申請者：清水 宣明（愛知県立大学看護学部看護学科 教授）
4. 共催：豊田市、愛知県立大学地域災害弱者対策研究所、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年10月16日（土） 13:00～15:00
6. 会場：豊田市 崇化館交流館 第2会議室
7. 講師：清水 宣明（愛知県立大学看護学部看護学科 教授）
8. 参加者数：8名（一般）

【概要】

令和3年9月18日に予定していた第1回講座は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために中止としたため、令和3年10月18日の第2回講座では、第1回の内容を含めて開催した。

【講座の様子】



【チラシ】



愛知県立大学
AICHI PREFECTURAL UNIVERSITY

愛知県立大学の教員が豊田市にて
公開講座を開催いたします！

**【全2回】 保育施設の災害対策・
新型コロナウイルス感染対策**

講師：愛知県立大学看護学部 清水 宣明 教授

講座内容	①災害が発生したときに第1立場に立たされる保育現場（保育室、幼稚園、こども園等）の対策について、その考え方や実践例を説明します。②保育施設における新型コロナウイルスの感染防止対策について、その詳細な知識と考え方、対策の方法について解説します。	
開催日時	①2021年9月18日（土） ②2021年10月16日（土）	13時00分～15時00分 （受付開始 12時30分）
参加人数	各回40人（申込必要・先着順）※②回どちらかの参加も可	
受講料	無料	
開催場所	豊田市 崇化館交流館 第2会議室 〒471-0078 愛知県豊田市旭町2-46 TEL: 0565-33-0750	
申込方法	愛知県立大学地域連携センターホームページ（以下QRコード： https://www.bun-sachi-gu.ac.jp/renkei/ ）専用WEBサイトより申込み （FAXでも可。お電話（保育施設の災害対策・コロナウイルス感染対策、広域 5のがた）、電話予約、FAX番号を明記のうえ、 FAX番号（0561-64-1104）までお送りください。	
申込締切日	①2021年9月17日（金）午前9時 ②2021年10月15日（金）午前9時	

ご参加お待ちしております。

お問い合わせ 愛知県立大学 研究支援・地域連携課
TEL: 0561-76-8843 E-MAIL: renkei@bun-sachi-gu.ac.jp



【注意事項】

- 講座に参加される方は、マスクの着用・手洗いの徹底にご協力をお願いします。
- 新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて、開催を延期または中止する可能性があります。

最新状況については、地域連携センターWebサイトをご確認ください。
愛知県立大学地域連携センターWebサイト： <https://www.bun-sachi-gu.ac.jp/renkei/>

【講座の様子】



令和3年度 豊田市公開講座 実施結果③

1. 事業名称：とっさの英会話、とっさの異文化マナー
2. 事業種別：共催
3. 申請者：秋田 貴美子（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 准教授）
4. 共催：豊田市、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年10月24日（日） 10:00～12:00
6. 会場：豊田市 保見交流館
7. 講師：秋田 貴美子（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 准教授）
8. 参加者数：10名（一般）

【概要】

英語と異文化交流に関心がある一般市民を対象に、「英会話と異文化マナー」の講習を実施した。外国人と接する「とっさの状況」で、どのような英語を使い、反応したら良いかについての講義と、ペアワーク、ラップ、ゲームなどのアクティビティを行った。

毎年実施しているためか、開催前から一部の参加者から楽しみだと連絡があった。また、リピーターが全体の3割いた。

【講座の様子】



【チラシ】



愛知県立大学
AICHI PREFECTURAL UNIVERSITY

愛知県立大学の教員が豊田市にて
公開講座を開催いたします！

とっさの英会話、とっさの異文化マナー

講師：愛知県立大学外国語学部 秋田 貴美子 准教授

講座内容	とっさの時に使う英会話と異文化マナーを学習します。便利で簡単な英語表現。英会話、外国人と交流する際の正しいマナーなどを、日本の文化と比較しながら学びます。	
開催日時	2021年8月29日（日）	10時00分～12時00分 （受付開始：9時30分）
募集人数	20人（対象は20歳以上・申込先着順）	
受講料	無料	
開催場所	豊田市保見交流館 2階 大会議室 〒470-0344 愛知県豊田市保見町西辰田 121-1 Tel: 0565-48-3403	
申込方法	愛知県立大学地域連携センターホームページ（以下QRコード） http://www.buraichi-pu.ac.jp/renkei/ 専用WEBサイトより申込み ※FAXでも可。申込名「とっさの英会話、とっさの異文化マナー」、氏名（ふりがな）、電話番号、FAX番号を明記のうえ、 FAX番号（0561-64-1104）までお送りください。	
申込締切日	2020年8月27日（金）午前9時	

ご応募お待ちしております。

お問い合わせ 愛知県立大学 研究支援・地域連携課
Tel: 0561-76-8843 メール: renkei@buraichi-pu.ac.jp

【ご案内（変更）】
●感染防止対策のため、マスクの着用・手指の消毒にご協力をお願いします。
●新型コロナウイルス感染症拡大の状況に応じて、開催を延期または中止する可能性がございます。
最新の状態については、地域連携センターWebサイトをご確認ください。
愛知県立大学地域連携センター Web サイト: <http://www.buraichi-pu.ac.jp/renkei/>



5. 自治体等との連携

(4) 高大連携

令和3年度 「知の探究講座」(県教委事業) 実施結果 (高大連携事業)

講座名 「プログラミングの扉を開く」
会 場 長久手キャンパスC棟 演習室6
参加者 18名(県内高校からの希望者)

実施日程および内容

	実施日	講座内容
第1回	8月18日(水)	1 (1) 準備 (2) はじめの一步
第2回	8月19日(木)	2 命令型プログラミング言語
第3回	8月20日(金)	3 (1) オブジェクト指向プログラミング (2) enchant.js の基礎
第4回	8月23日(月)	4 (1) アルゴリズムとデータ構造 (2) enchant.js の基礎続き
第5回	8月24日(火)	5 グループ課題
第6回	9月11日(土)	6 グループ課題
第7回	10月9日(土) ※新型コロナウイルス感染拡大のため中止	7 グループ課題
第8回	11月6日(土)	8 講座別発表会

※時間は各日とも10:00~17:00

開講式 令和3年7月24日(土)(会場:豊田工業大学 豊田喜一郎記念ホール)
全体発表会 令和4年1月8日(土)(会場:愛知教育大学 講堂)

推進会議 第1回 令和3年5月12日(水) 書面開催
第2回 令和4年1月27日(木) 書面開催

【講座の様子】



【次世代ロボット研究所棟見学の様子】



5. 自治体等との連携

(5) その他

第1回在名古屋ブラジル総領事館 サイエンス・フェア 実施結果 (在名古屋ブラジル総領事館との共催事業)

1. 日 時：令和3年7月18日（日） 10：00～15：30
2. 会 場：愛知県立大学
3. 参加者数：238名（コンペ参加生徒・一般客・総領事館スタッフ）
4. 実施状況：

コロナ禍の中で度重なる延期を経て、在名古屋ブラジル総領事館と本学が共同で創り上げた「サイエンス・フェア」を開催しました。この「フェア」は、日本在住のブラジル人生徒の科学への関心と高等教育へのモチベーションを高めたいという総領事館の熱い思いを異文化交流を重視する本学が受け止めて実現したものです。東海・近畿地区のブラジル人学校の生徒や保護者をはじめ多くのブラジル籍住民が本学を訪れ、活気に満ちたイベントになりました。

《プログラム》

- ① ブラジル人学校の生徒たちが制作したボートの性能を競うコンペティション
- ② 神山情報科学部長による講演
- ③ 次世代ロボット研究所見学と伊藤正英准教授（情報科学部）を中心とする院生・学生によるロボットデモンストレーション
- ④ ポルトガル語を学ぶ外国語学部学生による学内ツアー
- ⑤ 会場の本学ブースでの各学部の魅力の紹介

【会場の様子】



愛知工業大学（地域防災研究センター）との学生連携

○学生大防災会議 2022 ―広げる防災のカタチ―

1. 日 時：令和 4 年 3 月 9 日（水）13：00～16：00
2. 開催方法：Zoom
3. 企 画：愛知工業大学 学防（まなぼう）ラボ
4. 主 催：愛知工業大学地域防災研究センター
5. 共 催：愛知県立大学
6. 後 援：豊田市、日本赤十字社愛知県支部、愛知県、名古屋地方気象台、
認定 NPO 法人愛知ネット
7. 概 要：

【今年度の活動報告】

＜愛知工業大学＞・かまどベンチ製作

- ・家具固定実験装置製作
- ・豊田市と連携した防災活動
- ・小・中学校での防災教育

＜愛知県立大学＞・文化活動を通した、子供とつくるコミュニティ

～保見団地の壁画デザイン活動を通じて～

- ・防災拠点としての公園

＜愛知工業大学名電高等学校＞

＜社会人チーム ～学防ラボのゼミ～＞

【グループディスカッション】

- ・新しい防災のカタチ
- ・防災の広げ方
- ・皆さんにとっての防災とは

○相互情報提供

両センターのイベントを互いに広報している。

【愛知工業大学 地域防災研究センター】

- ・9/27（月） 防災セミナー 東日本大震災から 10 年
- ・10/18（月） 防災セミナー 日々の暮らしと土砂災害への備え
- ・11/14（日） 地域防災研究センター 成果発表会
- ・12/19（日） 学校防災シンポジウム 2021 学校が避難所になるとき
- ・2/19（土） 社会人防災マイスター養成講座 修了生研究発表会
- ・2/21（土） あいぼう会講演会・講演会 名古屋の都市（計画）史からみた都市防災

【愛知県立大学 地域連携センター】

- ・認知症サポーター養成講座
- ・愛県大アカデミックデイ 2021

5. 自治体等との連携

(6) 連携協定

連携協定の締結

○認知症高齢者の災害時支援に関する愛知県と愛知県立大学との連携と協力に関する協定

相互に緊密に連携・協力し、地域における認知症高齢者の災害時支援体制の構築に資する取組を実施することにより、認知症に理解の深いまちづくりの推進を図ることを目的として協定を締結しました。

(令和3年3月24日(水))



○愛知県立大学と愛知県教育委員会との連携協力に関する協定

高大連携をはじめ、教育分野で相互に密接な連携協力を行うことにより、両者の教育・研究の充実と地域社会の発展に寄与することを目的として、協定を締結しました。

(令和3年12月20日(月))



○愛知県立大学と西尾信用金庫との連携に関する協定

西尾信用金庫の取引先企業へのDX普及に本学の知的資源を活用し、共同研究を推進し、地域社会の発展と人材育成につなげることを目的として協定を締結しました。

(令和4年1月7日(金))



○愛知県立大学と公益財団法人あいち産業振興機構との連携協力に関する協定書

相互に緊密な連携協力と情報共有を図ることで、愛知県の産業振興及び地域課題の解決に寄与することを目的として、協定を締結しました。

(令和4年3月16日(水))

6. 参考資料

○地域連携センター ウェブサイト

ウェブサイトアドレス <https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei>



地域連携センターの概要や活動報告、これから開催する講演会、講座等の情報を PC 版及びスマートフォン版で提供しており、申込が必要な講座については、申込手続を円滑に行っていただけるよう、講座申込フォームも開設しています。

今後も、より見やすく、分かりやすく講座情報等を提供するため、更なる内容の充実や利便性向上に努めてまいります。

当センター年報のアーカイブや地域連携研究シーズ集を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

➤ 年報

<https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/annualreport/index.html>



➤ 地域連携研究シーズ集

<https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/staff/index.html>



令和4年3月発行

編集・発行 愛知県立大学地域連携センター

愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3

電話:0561-76-8843

<https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei>